



UA---KG



## 三菱電気温水器

時間帯別電灯(通電制御型)/深夜電力8時間(通電制御型)

形名

**SRT-556GUA**

※リモコンが同梱されています。

## 据付工事説明書 (販売店・工事店様用)

工事完了後、本書をお客様へお渡しください。

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に、この「据付工事説明書」を必ずお読みください。この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、製品を改造した場合、また、当社指定部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

### お願い

- 販売店または専門業者が施工してください。
- この製品は、単相200Vで動作します。
- 製品、梱包材等を廃棄する際には、法令等に基づいた適切な処置をお願い致します。
- この製品は、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。必ず、当社指定の据付工事をしてください。
- 運搬するときは、前面カバーを上にして本体背面のどつと脚を持ってください。また、高層住宅などへのつり上げ運搬は、つり上げ台を使用してください。
- 製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
- リモコン(同梱)を接続しないと動作しません。必ずリモコンを接続して使用してください。
- 温水器を複数接続するときは、温水器1台につきリモコン1台を接続してください。
- 温水器を複数接続するときは、必ず並列で接続してください。
- 標準圧力型電気温水器との接続はできません。給湯圧力が異なりますので給湯系路を独立して設けてください。
- 降雨中は前面カバーを開けないでください。
- 太陽熱温水器との接続はできません。
- 本体内蔵減圧弁からの2次給水はできません。
- 施工後すぐに使用しないときは、凍結防止のため、必ず温水器の水抜きを行なってください。
- 大容量給湯システムの施工方法は販売店にご相談ください。

### 高圧力型

事業者さまが事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の規程があり、特別な対応が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問い合わせください。(同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください。)

## もくじ

1. 安全のために必ずお守りください	2
2. 工事に必要な部材	3
3. 据付工事	
3-1. 据付場所の選定	4
3-2. 基礎工事	4
3-3. 脚部固定工事	5
3-4. 上部振れ止め工事	5
4. 配管工事	
4-1. 本体配管工事	6
4-2. 配管例(2台並列接続の場合)	7
4-3. 凍結防止工事	8
4-4. 保温工事	9
4-5. 階上(2、3階)給湯	9
4-6. 階下給湯	9
5. 電気工事	10
5-1. 配線工事	11
5-2. アース工事	11
6. リモコン工事	
6-1. リモコン取付工事	12
6-2. 温水器への接続工事	13
7. 据付工事後の確認	14
8. 試運転	15
9. お客様への説明	15

### 仕様表

裏表紙

### 外形寸法図

裏表紙

# 1.安全のために必ずお守りください

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		指示に従う		アース線接続
---	----	---	-------	--	--------

 **警告**

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。

**準備と確認**

 □上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する(配管破損による水漏れの原因)

□電気工事は、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士\*が施工し、必ず、専用回路を使用する(火災・感電の原因)

**設置**

 □ガス類、引火物の近くに設置しない(ガスボンベからは2m以上離す)(発火の原因)

□湿気の多い場所に設置しない(火災・感電の原因)

**工事**

 **アースは確実に取り付ける(故障や漏電のときに感電の原因)**

感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士\*がD種接地工事をしてください。

アース線を必ず接続せよ



**漏電遮断器の動作を確認する**  
(故障のまま使用すると漏電のときに感電の原因)

**電源線は、中間接続をせず、所定のケーブルを使用して確実に接続する**  
(発熱して火災の原因)

**凍結防止ヒータの施工についての詳細は、凍結防止ヒータに同梱の説明書にしたがう**  
(電源コードや発熱体をねじったり、折り曲げたり、重ねて巻いたり、束ねたり、密着巻きをしたり、断線させたりすると、発火・火災の原因)

据付は質量に十分に耐える所に確実に(転倒や落下によるけがの原因)

当社指定部品を必ず使う(火災・感電・水漏れの原因)

\*工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

 **注意**

誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつきます。

**工事**

  **通電はタンクを満水にしてから行う**  
(ヒーターが過熱して発火の原因)

温水器の脚をアンカーボルトで固定する  
2階以上に据付ける場合は、天部も上部振れ止め金具で固定する  
(地震などにより転倒し、けがの原因)

床面の防水・排水処理をする(水漏れによる損害の原因)

凍結防止対策をする(配管破損による水漏れ、やけどの原因)

工事作業中は手袋を着用する(着用しないとけがややけどの原因)

アンカーボルトが壁内のラス網と電氣的に絶縁している状態で上部振れ止め金具を壁に固定する  
(絶縁していないと漏電のとき火災・感電の原因)

排水トラップを設ける  
(下流ガスが逆流して臭気が上がってきたり、本体、配管が腐食し損傷や水漏れの原因)

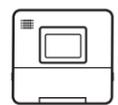
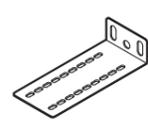
間接排水工事を(タンクが破損し水漏れの原因)

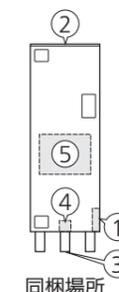
シャワー給湯栓はサーモスタット付の湯水混合栓(逆止弁付)を使用する(やけどの原因)

屋外で据え付ける場合は、風が当たらない安定した場所に仮置きする  
(強風によって製品が転倒し、けがの原因)

# 2.工事に必要な部材

## 同梱付属部品

①リモコン (本体内部に同梱)  <1個>	②上部振れ止め金具 (本体上部に固定)  <1個>	③L型座金 (脚に固定)  <3個>	④パテ (本体内部に同梱)  <1個>	⑤取扱説明書、 据付工事説明書、 保証書等 (本体正面にテープ止) <一式>
---	---	--	---	--



## 現地で使用する主な部品

### 取付必須部品

No.	品名	形名	個数
1	アンカーボルト(脚固定用)M12(30本入)	GZ-B1F	1
2	絶縁パイプ(20A 0.5m) 給水・給湯用	GT-61G	2
3	逆止弁	GT-45G	1
4	アース棒	GT-30F	1
5	リモコンケーブル(2芯 20m、線径:0.3mm <sup>2</sup> )	LM-620B	1
(選択)	リモコンケーブル(2芯 50m、線径:0.3mm <sup>2</sup> )	LM-650B	

\*リモコンケーブルは、設置状況に合わせて選んでください。

### 条件により準備する部品

No.	品名	形名	個数
6	脚固定金具(1セット3個入り)	GZ-6E	1
7	脚固定金具(木質床用)(注)	GZ-H12A	1
8	アンカーボルト(上部固定用)M10(50本入)	GZ-B2F	1
9	脚部カバー*1	GT-F550C/D	1

\*1. 温水器本体を据え付ける前に脚部カバーの支持板を本体に取り付けてください。  
注. 温水器を木質床に設置する場合、地階及び1階並びに敷地の部分に設置とし、必ず上部も固定してください。2階以上には据え付けできません。  
(国土交通省告示 第1447号)

### 取付必須部品(市販品の一例)

No.	品名	仕様等
1	凍結防止ヒータ	市販品の一例:東京特殊電線 NFオートヒーター
2	水抜き栓(給水・給湯配管用)	不凍結水栓等の水抜き栓、またはY形ストレーナー等水抜きができる手段
3	アース線	IV電線 3.5mm <sup>2</sup>
4	アース線接続用端子	M4 丸型端子

## はじめに〈配管均等表〉

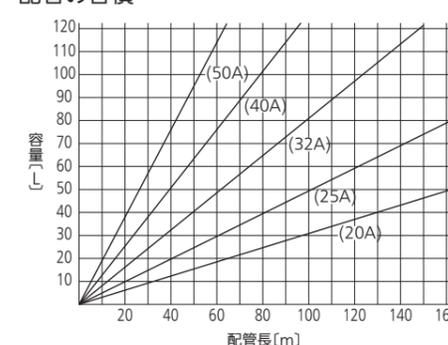
温水器の配管径は、標準で20Aとなっており、この径では同時給湯能力が3箇所程度が限度です。しかし、業務用においては配管径が50A程度の太さまで使用されています。既設及び新設の配管径が25A以上の太さになっている場合は、本書の並列配管システムで対応する必要があります。この時、温水器の配管径20Aに対し、各配管径が何本分に相当するか次の表を参照ください。

### 配管均等表(20A換算表)

配管径	硬質塩化ビニールライニング鋼管		
	硬質塩化ビニール管	配管用炭素鋼管	硬質塩化ビニール管
20A	1.0	1.0	1.0
25A	2.1	1.9	1.8
32A	4.4	3.7	3.2
40A	6.8	5.6	6.2
50A	13.4	10.6	11.7
65A	26.8	20.3	24.0
80A	41.5	32.0	34.7
100A	86.3	64.5	68.9

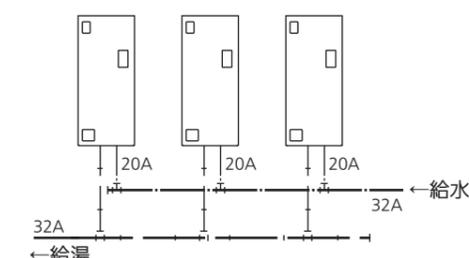
空気調和衛生工学便覧より

### 配管の容積



〈例〉3台並列配管(硬質塩化ビニールライニング鋼管を使用)の場合

電気温水器の配管径は20Aなので、主配管は20A 3本分の太さが必要です。  
配管均等表から3本分以上の配管径32A(4.4本分)を選定します。



# 3.据付工事

●貯湯ユニットは、国土交通省告示第1447号(平成25年4月1日施行)に適合した設置工事が必要です。  
必ず当社指定の据付工事をしてください。

●この電気温水器は「耐震クラスA、B」対応です。

※地階及び1階並びに敷地の部分において

※耐震クラスとは、(一財)日本建築センター「建築設備耐震設計・施工指針」における局部震度法による設備機器の地震力に基づく指標。  
耐震クラスAは耐震クラスBのおよそ1.5倍にあたる設計用水平震度(KH)=0.6を満足します。

## 3-1.据付場所の選定

- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据え付けしないでください。
- 積雪地区で屋外に据え付ける場合は、小屋がけをして雪がかかるのを防いでください。小屋がけしない場合、天板が変形したり、部品が故障したりするおそれがあります。また、雪が本体に入り込み、エラーが出るおそれがあります。
- 外気温がマイナス10℃を下回る地域では屋内に据え付けてください。
- 浴室など湿気の多いところには据え付けしないでください。
- 浄化槽の近くには据え付けしないでください。
- 配管による放熱ロスを少なくするため、給湯場所に近い所へ据え付けてください。
- 小空間へ設置する場合は、膨張水によって、温水器の下部や小空間の壁などに結露して、温水器が故障したり、壁が吸水して落ちることがあります。結露対策として、必ず以下の事項を行なってください。
  - 排水ホッパーは温水器の真下にこないようにしてください。(脚部カバーは、使用しないでください。)
  - 室内に換気扇等を設けて、室内の湿気を排除してください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるスペースも考慮してください。



メンテナンススペース寸法

可燃物からの離隔距離(cm)				
上方	側方	前方	後方	
0	0	0	0	

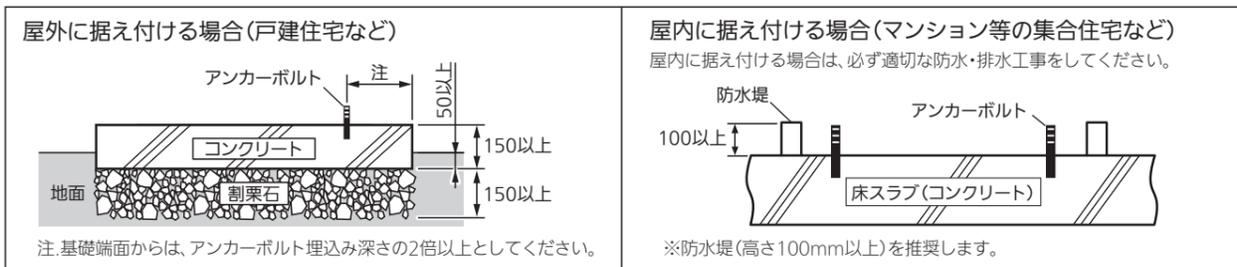
### 消防法基準適合組込形

この温水器は消防庁告示第一号(対象火気設備等及び火気器具等の離隔距離に関する基準)に適合しています。建築物の可燃物等からの離隔距離は右表に掲げる値以上の距離を保ってください。

## 3-2.基礎工事

- 満水時の質量(仕様参照)に十分耐える基礎工事をしてください。
- 屋内設置の場合は床面の防水・排水工事をしてください。
- 基礎工事は下図にしたがってください。

〈寸法単位:mm〉



●コンクリート圧縮強度: 18MPa以上 ●アンカーボルト引き抜き力: 12kN以上\*1

※1.耐震クラスB、地階及び1階並びに敷地の部分に設置時は、アンカーボルト引き抜き力: 6.7kN以上

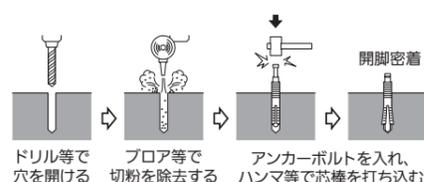
### 【お願い】

- 買い替え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。めねじアンカーボルトは使用しないでください。

アンカーボルト(脚固定用 形名:GZ-B1F) 寸法(mm)				
直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ*2
12	100	40	12.7	80

※2.耐震クラスB、地階及び1階並びに敷地の部分に設置時は、埋込み深さ: 60mm

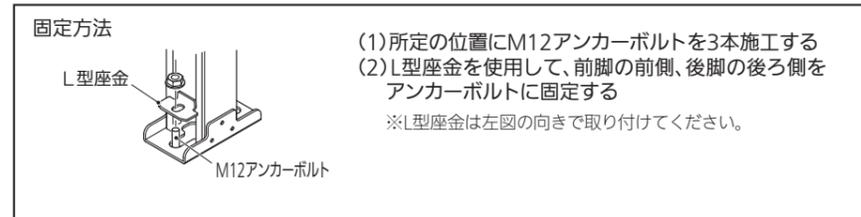
### 芯棒打込み式おねじアンカーボルトの施工例



## 3-3.脚部固定工事

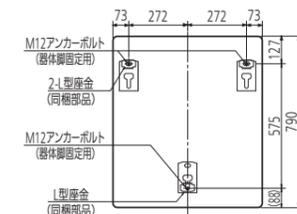
- 必ず水平に取り付けてください。
- 必ず同梱のL型座金を使用し、すべての脚をアンカーボルトで直接固定してください。

### 標準施工の場合



- (1) 所定の位置にM12アンカーボルトを3本施工する
- (2) L型座金を使用して、前脚の前側、後脚の後ろ側をアンカーボルトに固定する

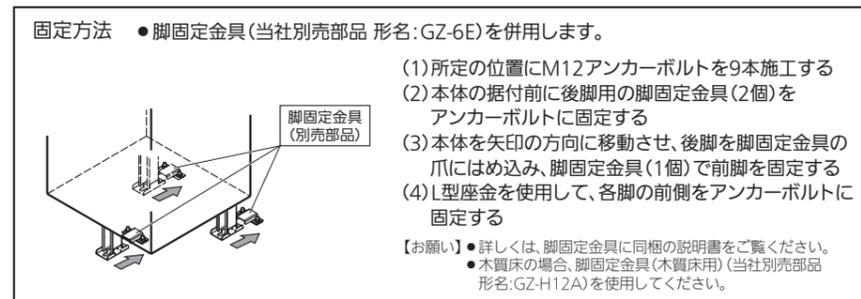
※L型座金は左図の向きで取り付けてください。



アンカーボルト位置上面透視図(標準施工時)

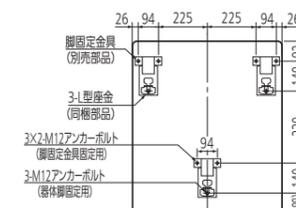
### 標準施工ができない場合

- 脚を直接アンカーボルトで固定できない場合など、脚固定金具を使用して設置する際は、地震による転倒や移動を防止するため、設置階を問わず、上部振れ止め工事をしてください。上部振れ止め工事ができない場合は、以下の事項を厳守ください。
  - 万一、製品が転倒・移動した場合でも、人に危害が及ぶおそれがない場所へ設置してください。
  - 製品の転倒・移動により想定される衝撃が作用した場合においても、著しい破壊が生じない丈夫な壁、囲いを製品周囲に設置してください。



- (1) 所定の位置にM12アンカーボルトを9本施工する
- (2) 本体の据付前後脚用の脚固定金具(2個)をアンカーボルトに固定する
- (3) 本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込み、脚固定金具(1個)で前脚を固定する
- (4) L型座金を使用して、各脚の前側をアンカーボルトに固定する

【お願い】●詳しくは、脚固定金具に同梱の説明書をご覧ください。  
●木質床の場合、脚固定金具(木質床用)(当社別売部品 形名:GZ-H12A)を使用してください。



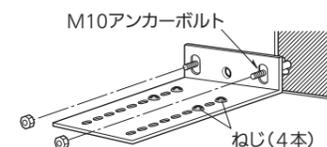
アンカーボルト位置上面透視図(標準施工ができない場合)

## 3-4.上部振れ止め工事

- 2階以上に据え付ける場合は、必ず天部も同梱の上部振れ止め金具で固定してください。(木質床に設置する場合、2階以上に据え付けできません。)

**注意** アンカーボルトが壁内のラス網と電氣的に絶縁している状態で上部振れ止め金具を壁に固定する(絶縁していないと漏電のとき火災・感電の原因)

上部振れ止め金具は、機種により形状が異なります。



- (1) 付属のねじ(4本/個)を使用して、上部振れ止め金具を上向きで本体に固定する(1カ所)
- (2) 上部振れ止め金具をM10アンカーボルト2本で壁に固定する

### 【お願い】

- 引張荷重が4.9kN以上に耐える壁、または棧を設けてください。
- アンカーボルトは引き抜き力が2.45kN以上になる施工をしてください。
- アンカーボルトの下穴は下表を参照してください。

アンカーボルト(上部固定用 形名:GZ-B2F) 寸法(mm)

直径	全長	ねじの長さ	ドリル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	40

- 使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。シールは上部振れ止め金具に付いています。
- できるだけ壁と温水器が近づくように上部振れ止め金具を固定してください。壁と温水器が離れていると温水器ケースが引っ張られ、逃し弁と操作窓が接触することがあります。

# 4.配管工事

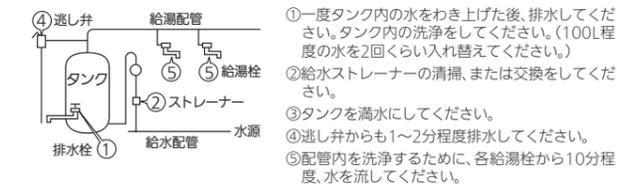
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。ただし、水質によっては機器や内部部品※の寿命が通常より短くなることがあります。※タンク・減圧弁・逃し弁など
- 温泉水・地下水・井戸水は使用しないでください。使用期間中の水質が常に水道法の定める水質基準内である担保が取れず、無償保証できません。
- 水源水圧が200kPa以上確保できる場所で使用してください。(750kPaを越える地域は給水一次側に減圧弁を設けてください。)
- 水栓は逆止弁付湯水混合栓を使用してください。使用する蛇口によっては、出湯量が少ない場合があります。シャワーはやけど防止のため、必ずサーモスタット付湯水混合栓を使用してください。シャワー以外の水栓も、サーモスタット付湯水混合栓の使用を推奨します。(サーモスタット付湯水混合栓を使用する場合、構造により出湯量が極端に少ない場合があります。ご使用になるときは、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して選定してください。手元ストップシャワー、マッサージシャワー等のシャワーヘッドでは出湯量が少なくなります。)お湯を使用する時は、やけど防止のため、湯温を確認してお湯を使用してください。
- 水栓※によっては、水撃(ウォーターハンマー)現象がおこることがあります。水撃防止装置取付などの処置をお願いします。  
※シングルレバー式の湯水混合栓や手元ストップシャワー
- 排水口の下には必ず排水ホッパーを設けてください。

**警告** 上水道直結の配管工事は、当該水道局(水道事業者)指定の給水装置工事事業者が指定された配管材料を使用して施工する(配管破損による水漏れの原因)

## 【お願い】

- 配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所付近に飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。
- 給湯配管は、管の膨張収縮があるため、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。
- 配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。
- 配管材料はねじ切り・切断などの際、油やゴミが付着するため、加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。また、キズやバリがないように面取りを行ってください。(通水後は各水栓、給水ストレーナーにゴミがたまっていないか点検してください。)
- シールテープを使用する場合は、ねじ部よりはみ出さないようにしてください。
- 減圧弁1次側の水圧検査は、750kPa以下で行なってください。

- 耐熱塩ビ管 (HT管) の接着には、必ず耐熱接着剤 (90℃以上) を使用してください。また、硬化後に通水してください。使用する接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤メーカーの説明書にしたがってください。接着剤やフラックスが温水器のタンクに入り、湯から悪臭が発生した場合は以下の処置を行なってください。



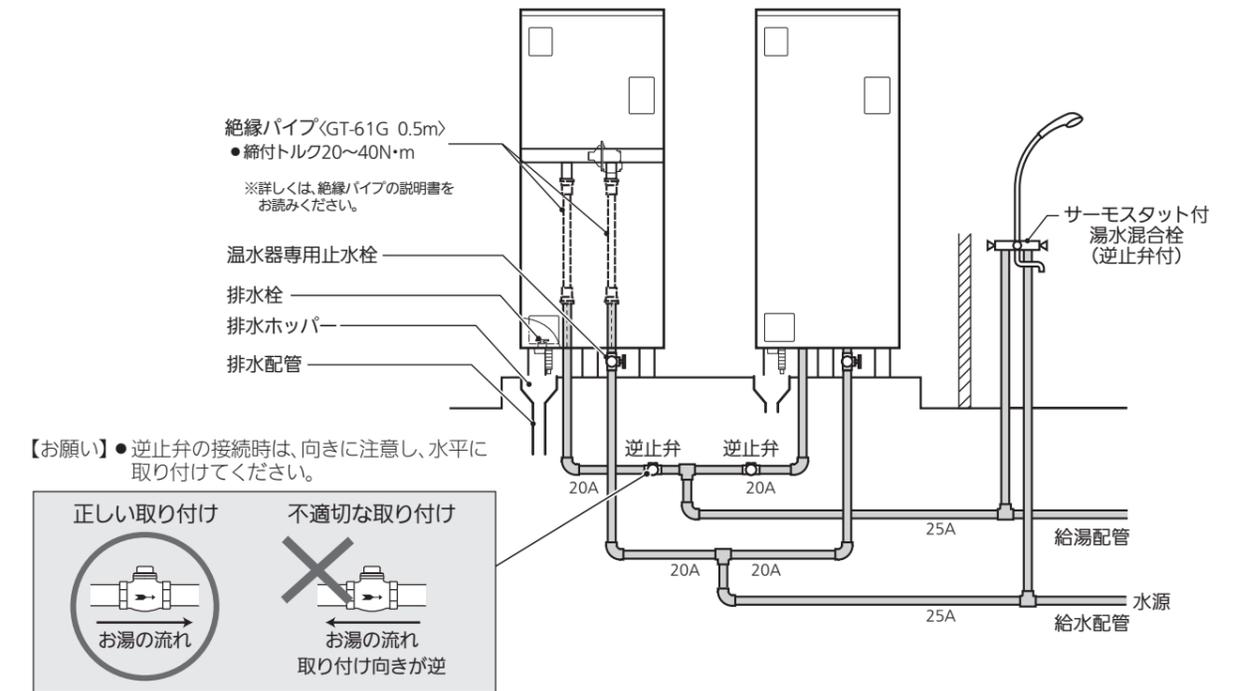
- 温水器専用止水栓や配管などの水抜きをするときに必要な手段は、必ずお客様が操作しやすい場所に取り付けてください。

## 4-1.本体配管工事

配管名	耐熱温度	種類	絶縁パイプ	施工上の注意事項
給水配管	—	耐食性を有するもの(銅管など)	GT-61G (20A, 0.5m)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●故障や点検など排水するときに必要な、温水器専用止水栓を取り付けてください。(温水器本体内には取り付けしないでください。)</li> <li>●配管等の水抜きをするときに必要な水抜き手段(不凍結水栓などの水抜き栓、またはY形ストレーナー等を利用し、配管内の水を抜く手段)を温水器専用止水栓の2次側に必ず取り付けてください。 ※不凍結水栓を施工する場合、温水器専用止水栓は不要です。</li> </ul>
給湯配管	90℃以上	耐食性を有するもの(銅管など)	GT-61G (20A, 0.5m)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●階下給湯は、温水器天面から5m以内です。(「4-6.階下給湯」参照)</li> <li>●配管等の水抜きをするときに必要な水抜き手段(不凍結水栓などの水抜き栓、またはY形ストレーナー等を利用し、配管内の水を抜く手段)を必ず取り付けてください。</li> <li>●配管部材(配管接続部パッキン等)は耐熱性・耐食性のある材料を使用してください。</li> </ul>
排水配管 (※1)	90℃	耐食性を有するもの (HT管)	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>●口径φ80以上の排水ホッパーや排水トラップおよびφ50以上の排水管を使用してください。(配管勾配1/50以上)</li> <li>●わき上げ中に逃し弁から少量のお湯が出るため、必ず排水工事を行なってください。</li> <li>●最大毎分40L程度排水されるため、十分排水できる排水工事をしてください。</li> <li>●耐熱塩ビ管 (HT管) の接着には、必ず耐熱接着剤 (90℃以上) を使用してください。(漏水の原因)</li> </ul>

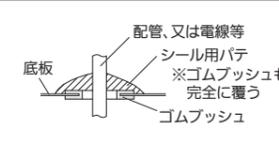
※1. 本体排水口から排水配管にフレキ管で導く場合は、長さ2m2曲がり以内で、必ず下り勾配としてください。また、50mmの排水口空間を確保してください。温水器の中に排水があふれるおそれがあります。

## 4-2.配管例(2台並列接続の場合)



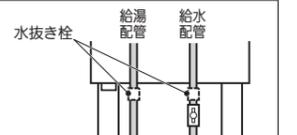
## 【お願い】

- 温水器底面の各配管口のゴムブッシュ(右図)は外さないでください。また、本体と配管のすきまは、同梱のパテでシールしてください。(万一、タンク等から漏水した場合、大きな被害につながるおそれがあります。シール方法についてはパテに付属の説明書をお読みください。)



## 給水・給湯施工時のお願い

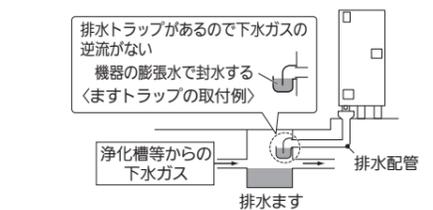
冬期など配管が凍結するおそれがあるときに、配管内の水を抜くことができるように、給水・給湯配管の図の位置に水抜き手段を取り付けてください。詳細は6ページ表の給水・給湯配管の説明をご覧ください。



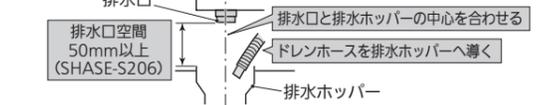
## 温水器からの排水

- 温水器の排水配管及びドレン配管には必ず排水トラップを設置してください。浄化槽などから下水ガスが逆流して、機器が著しく腐食し、故障します。(図1)
- 排水口空間を50mm以上 (SHASE-S206) 確保してください。
- 排水口と排水ホッパーの中心位置を確実に合わせてください。排水時に水が飛び散らないようにするためです。中心位置がずれている場合は、配管により最小距離で中心を合わせてください。距離が長いと凍結や排水時間が長くなる場合があります。配管は、鳥居(逆鳥居)配管せず下り勾配をつけてください。(図2)(適切に排水できず、機器の腐食の原因になります。)
- 排水口は樹脂ねじです。配管を接続する場合は、ねじ部に破損がないよう締付トルク15~20N・mを厳守ください。
- ドレンホースは下記にしたがい排水ホッパーへ導いてください。
  - ドレンホースに水がたまるないように、ソケットから排水ホッパーまで排水勾配を設ける(図3)
  - たるませないように必要に応じて切断する(図3)
  - 先端が水に浸からない(排水性能が著しく低下します。)(図3)
  - 排水口からの排水をさまたげない、排水が飛び散らない
  - 温水器底面より上にならない
  - 排水ホッパーから外れないように必要に応じて固定する

## 〈図1〉腐食が発生しない 正しい施工例



## 〈図2〉排水口と排水ホッパーの中心を合わせる



## 〈図3〉



# 4.配管工事(つづき)

## 4-3.凍結防止工事

- 保温工事がしてあっても周囲温度が0℃以下になると機器内の部品や配管が凍結します。配管凍結時は、機器内の部品や配管が破損し、水漏れとなる場合があります。必ず次の凍結防止対策をしてください。凍結による機器破損の修理は、無償保証の対象外です。
- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから、凍結防止工事をしてください。

**注意** 凍結防止対策をする  
(配管破損による水漏れ、やけどの原因)

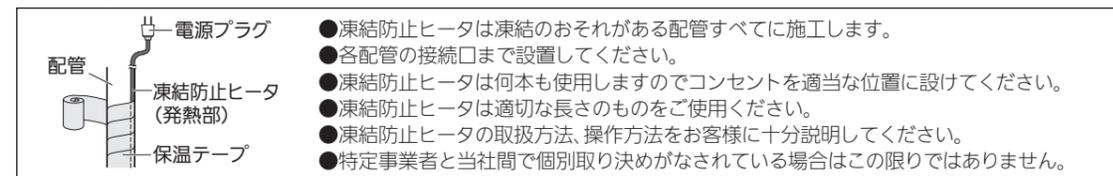
### (1)凍結防止ヒータを外部配管に設置する方法

凍結防止ヒータは、配管の温度を直接検出するタイプのものを使用してください。

市販品の一例：東京特殊電線 NFオートヒーター(自己温度制御タイプ)  
樹脂管使用時は樹脂管の材質を確認して適切な仕様のもをご使用ください。

- 外気温を検出するタイプは、温度誤検出のおそれがあります。
- 配管用の自動温度調節器(サーモスタット)のあるものを使用する場合は、確実に配管に取り付けてください。
- 凍結防止ヒータの電源接続部に水がかからないようにしてください。(火災・感電の原因)

### 施工方法



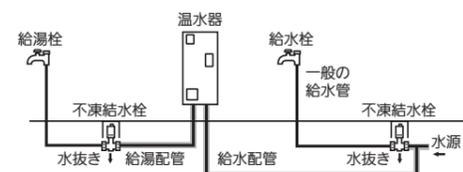
- 【お願い】●凍結防止ヒータは配管の種類で施工方法が異なります。
- 樹脂管の場合：樹脂管保温材(断熱材)に凍結防止ヒータを施工後、保温テープを巻いてください。
  - 銅管の場合：銅管に凍結防止ヒータを施工後、保温テープを巻いてください。

**警告** 凍結防止ヒータの施工についての詳細は、凍結防止ヒータに同梱の説明書にしたがう  
(電源コードや発熱体をねじったり、折り曲げたり、重ねて巻いたり、束ねたり、密着巻きをしたり、断線させたりすると、発火・火災の原因)

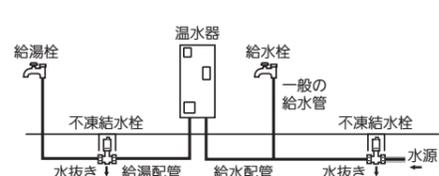
### (2)不凍結水栓による方法

不凍結水栓で給水、給湯配管を凍結防止する場合は、当社推奨配管システム※にしてください。  
※不凍結水栓で一般の給水管の水を抜いても、貯湯タンクに水源水圧が常時加わるシステム

#### 当社推奨配管システム



#### 水抜きの際、タンクに水圧が加わらない配管システム



### (3)施工後すぐに使用しない場合

施工後すぐに使用しない場合は、機器内の水を抜いてください。(14ページ参照)  
残水があると、凍結により機器が破損することがありますので、確実に実施ください。

### 万一凍結が発生した場合

- ①各種外部配管に対して据付工事説明書に記載している凍結防止及び保温工事を実施してください。
- ②すでに十分な凍結防止・保温工事がなされている場合は、注意事項に留意して該当箇所周辺を家庭用ヘアードライヤー(700~1400W)で解氷し、再通水、再通電及びエラー解除後に、試運転を実施してください。

#### 【注意事項】

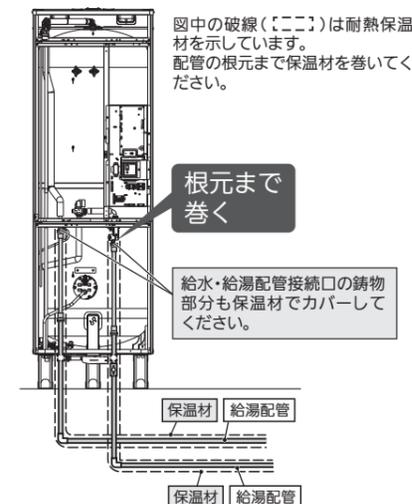
- 処置いただく前に、作業の安全性を確保するため、給水配管専用止水栓を閉じ、製品の電源と200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから実施してください。
- 部品表面が高温(60℃以上)にならないように、同じ箇所に長時間温風を当てずにまんべんなく暖めてください。
- 解氷により凍結破損箇所から水漏れする可能性があるため、タオルを当てるなどして水漏れを防止してください。
- 各種部品は防水仕様ではありませんので、水もしくは湯を掛けることによる解氷は絶対にしないでください。

## 4-4.保温工事

- 配管接続部の水漏れ有無を点検し、凍結防止工事を行ってから、した後に保温工事をしてください。
- 給水、給湯配管は、必ず耐熱保温材による保温工事をしてください。正しく保温工事がされていないと、冬期には凍結のおそれがあります。また、配管途中の放熱により、正常にわき上げができない場合があります。

耐熱保温材の厚み:10mm以上で各水道事業者指定の厚み

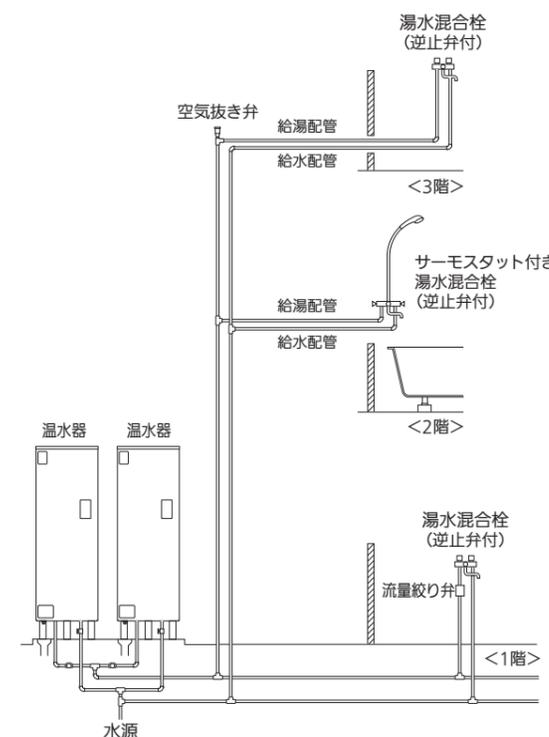
- 保温材がぬれないよう必ずテープなどで必ず防水処置をしてください。



## 4-5.階上(2,3階)給湯

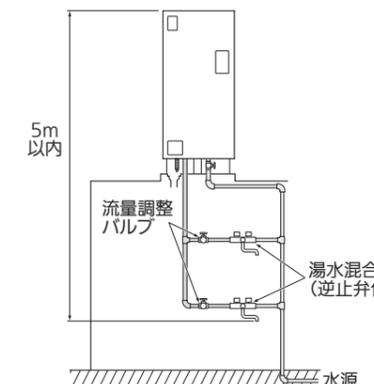
- 2,3階へ給湯するときは、図のように行ってください。
- 3階ではシャワーは使用できません。手洗い程度であれば使用できます。洗髪洗面化粧台は使用できません。
- 下の階で給湯しているときは、上の階での出湯が弱くなります。

【お願い】●給湯加圧ポンプは使用しないでください。



## 4-6.階下給湯

- 給湯配管は階下5mまで可能です。
- 湯水混合栓の出口と温水器天面の高低差は5mを超えると、負圧によるタンク破損や空気の混ざった湯水が飛び散る原因になります。
- 給湯配管の途中に流量調整バルブ(市販品)を取り付けてください。空気の混ざったお湯が出る場合は、温水器への給水量が不足しています。流量調整バルブで、給水量と給湯量を調節してください。



# 5.電気工事

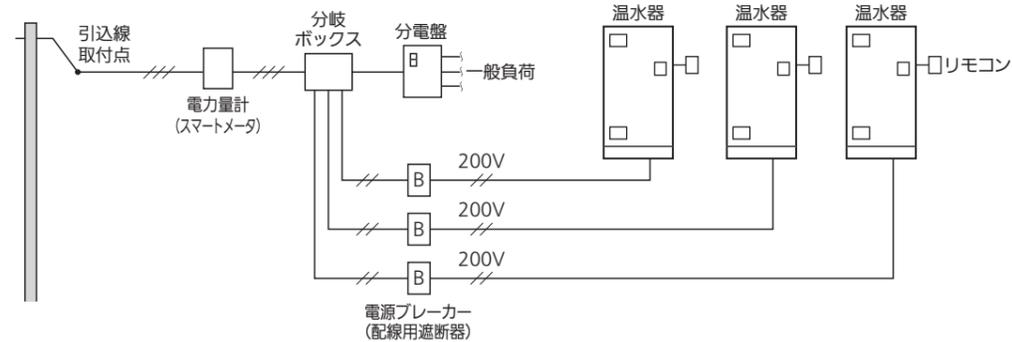
- 電源ブレーカー（配線用遮断器）の定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。
- 制御電源として昼間電力100Vの配線工事を行う場合は、必ず、漏電遮断器付きの電源をご使用ください。漏電遮断器は、高感度高速型(30mA以下、0.1秒以下)を必ず使用してください。
- 第2深夜電力(5時間通電)には対応していません。
- 必ず、タンクを満水にしてから電源を入れてください。未満水通電による機器破損の修理は、無償保証の対象外です。

**警告** 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※が施工し、必ず、専用回路を使用する(火災・感電の原因)

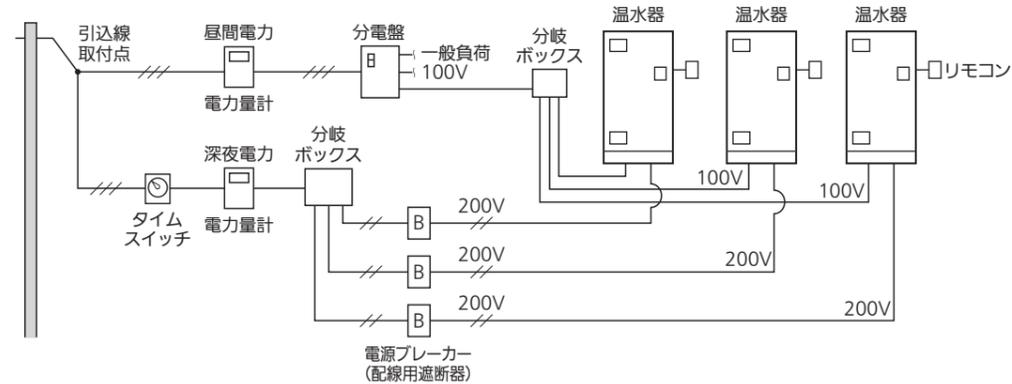
※工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

## 電気系統接続概要および注意事項

### 業務用蓄熱調整契約、時間帯別電灯契約で使用する場合 (リモコンは必ず使用してください)



### 深夜電力で使用する場合 (リモコンは必ず使用してください)



- 【お願い】 ●引込線取付点と分岐ボックス間の電源線太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。  
●電気温水器用電源ブレーカー組込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。
- 【お知らせ】 ●深夜電力で使用する場合は、わき増しはできません。

## ブレーカーの定格と電源線太さ・種類

### 業務用蓄熱調整契約、時間帯別電灯契約で使用する場合

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	電源線太さ	種類
SRT-556GUA	単相200V	6.408kW	50A	14mm <sup>2</sup>	VV

●CV線を使用する場合の電源線太さは、内線規程にしたがってください。

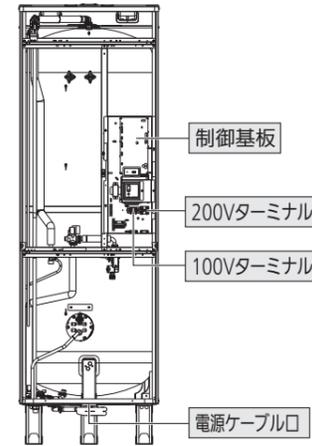
### 深夜電力で使用する場合

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	電源線太さ	種類
SRT-556GUA	単相200V(深夜電力)	6.4kW	50A	14mm <sup>2</sup>	VV
	単相100V(昼間電力)	0.008kW	15A・20A	φ1.6mm	VV

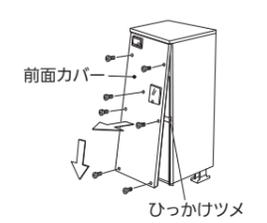
●CV線を使用する場合の電源線太さは、内線規程にしたがってください。

## 5-1.配線工事

- 配線図に合わせて電気温水器への配線工事を行なってください。



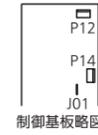
■前面カバーの外し方  
前面カバーのねじ(7本)を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。



- 【お願い】  
●外した前面カバーは傷が付かないよう、風が当たらない安定した場所に正面を上にして横置きしてください。

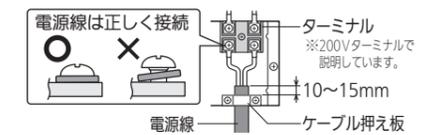
【お願い】

- 配線工事後に電源ケーブル口をパテでふさいでください。万一、温水器から水が漏れた場合や、温水器内へ虫などが侵入した場合は、被害を及ぼすことがあります。
- 湯を多量に使用する場合など、時間帯によらずにわき上げを行なうには、制御基板上のJ01ジャンパー線を切断してください。なお、時間帯別電灯契約の場合にJ01を切断すると、昼間時間帯にわき上げを行なうために電気代が高額になります。冠婚葬祭など一時的に多量の湯を使用すると想定される場合は、満タンわき増しを設定してご使用ください。



## 配線方法

- 温水器の前面カバーを外してから行なってください。工事終了後、元どおり前面カバーを取り付けてください。
- 電源線を固定するときは、端子部に直接外力が加わらないようにケーブル押え板で確実に固定してください。(固定位置は右図の寸法にしたがってください。)
- 電源線はななめ差しせず確実に接続してください。
- ケーブル押え板は、外被をむいていない所で固定してください。



時間帯別電灯契約、業務用蓄熱調整契約で使用する場合	深夜電力で使用する場合
<p>(1) 電源線を200Vターミナルに接続する</p>	<p>(1) 制御基板右上の「P12 200V」に差し込まれているコネクタを「P14 100V」に差し換える</p> <p>(2) 制御用(昼間電力用)電源線を100Vターミナルに接続する</p> <p>(3) わき上げ用(深夜電力用)電源線を200Vターミナルに接続する</p>

**警告**

電源線は、中間接続をせず、所定のケーブルを使用して確実に接続する(発熱して火災の原因)

- 電源線の丸端子の圧着は丸端子に適合した圧着工具で正しく圧着してください。

0.5mm~1mm

芯線 電源線

端子の締付基準トルク  
わき上げ用電源線: 2.0~2.5N・m  
制御用電源線: 1.2~1.6N・m

## 5-2.アース工事

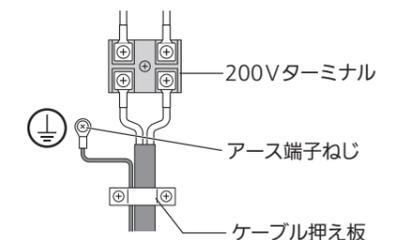
- アース線接続時は、電源ブレーカー及び漏電遮断器を「切」にしてください。
- 水道管、ガス管への接地はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。

**警告** アースは確実に取り付ける(故障や漏電のときに感電の原因)  
感電事故防止のため、「電気設備に関する技術基準」及び「内線規程」にしたがって第二種電気工事士※がD種接地工事をしてください。

アース線を必ず接続せよ

※工場・ビル等への設置で、一定要件を満たす場合は第一種電気工事士

- (1) アース線(市販品)に丸型端子(市販品 M4)を圧着する
- (2) 温水器下部の電源ケーブル口からアース線を温水器内へ通し、アース端子ねじ(⊕マーク)へ接続する  
締付基準トルク: 0.7~1.3N・m
- (3) アース線のもう一方をアース棒に確実に接続し、アース棒を地中に打ち込む(集合住宅の場合はアース配線に接続してください。)
- (4) D種接地工事の接地抵抗値が確認する



# 6.リモコン工事

- リモコン工事は、必ず電源ブレーカーを「切」にしてから行なってください。
- 同梱のリモコンをご使用ください。同梱のリモコン以外では、わき上げできません。
- リモコン線は、当社別売部品を設置条件に合わせて切断してご使用ください。  
[形名:LM-620BまたはLM-650B]
- 既設のリモコン線を使用する場合、当社別売リモコンケーブル相当品(2芯式、0.3~1.65mm<sup>2</sup>、67.6Ω/km以下)としてください。線径が0.3mm<sup>2</sup>以上の場合は、適合する接続端子(市販品)をご使用ください。

## 6-1.リモコン取付工事

### 付属品

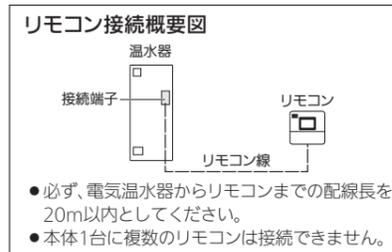
木ねじ (4.1×25)	Mねじ (M4×40)	Y型端子 (1.25-B3A)	操作説明ラベル
2本	2本	2個	1枚

### 【お願い】

- 操作説明ラベルをリモコンの近傍に貼り付けてください。

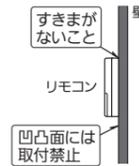
### 取付場所の選定

- 必ず平らな壁面に取付けてください。(凹凸があるとリモコンが変形して誤動作することがあります。)
- リモコン線の長さには制限があります。リモコン接続概要図を参照し、設置場所を選定してください。
- 必ず屋内に取り付けてください。防水タイプではありません。
- 取付位置はスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ(目の位置より少し下側)を選んでください。
- 下記の場所には取付けしないでください。
  - ガステーブルの近くなど高温(45℃以上)になるところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光のあたるところ
  - 幼児の手が届くところ
  - 湯気、水しぶきや油のかかるところ(防水タイプではありません。)



### 施工上のお願い

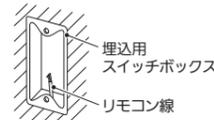
- リモコン本体を分解しないでください。
- リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上におかないでください。スピーカー部(左上)に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。
- リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。
- リモコン線が短絡しないように施工してください。
- リモコン線は、周囲の熱による劣化を防ぐため、高温部に触れたり、熱の影響を受けたりしないところに配線してください。
- リモコン線をコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管(PF管など)に収め、リモコン線が傷つかないようにしてください。
- リモコン線を接続後、過度にリモコン線を引っばらないでください。(リモコンやリモコン線が破損するおそれがあります。)
- Y型端子及び接続端子をカシメるときは、必ず当社指定の圧着工具を使用してください。また、圧着(接続)時は、引張強度35.6N以上を圧着後に確認してください。(参考)Y型端子用手動式圧着工具 日本圧着端子製造株式会社製 YHT-2210(JIS 9711規格品)
- リモコンをねじで固定する際、電気ドライバー、インパクトドライバーなどは使用しないでください。破損のおそれがあります。
- 壁に穴を開けて設置する場合、穴端部の凹凸をならし、石膏ボードくず等をきれいに取除いてからリモコンを設置してください。
- 既設のリモコン線を使用する場合は、必ず断線していないことを確認して配線してください。



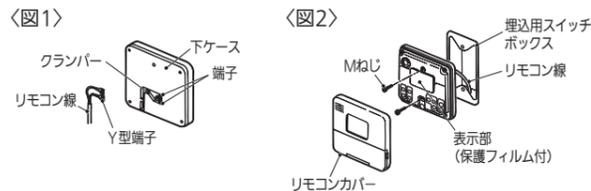
### リモコン線を壁中に通す場合(埋込配線)

#### 取付準備

- リモコン取付位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取り付けておく
- リモコン線を電気温水器まで配線しておく



- (1)埋込用スイッチボックスから出ているリモコン線を付属のY型端子に圧着して、クランパー(1カ所)に固定後、端子に接続する<図1>
- (2)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす
- (3)リモコンケースをMねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する<図2>
- (4)表示部の保護フィルムをはずす
- (5)リモコンカバーをケースにはめる<図2>



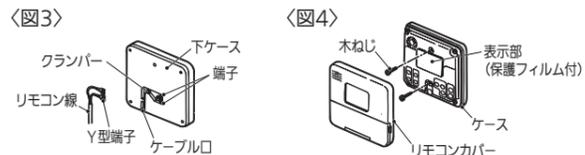
### 壁面に取り付ける場合(露出配線)

#### 取付準備

- 壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ取付穴(2カ所)をあけ、オールプラグを打ち込んでおく



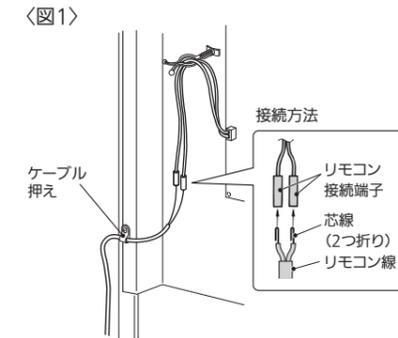
- (1)下ケースのケーブル口をニッパーなどで切欠く<図3>
- (2)リモコン線を付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコン線をクランパー(2カ所)に止める<図3>
- (3)マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす
- (4)リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する<図4>
- (5)表示部の保護フィルムをはずす
- (6)リモコンカバーをケースにはめる<図4>



## 6-2.温水器への接続工事

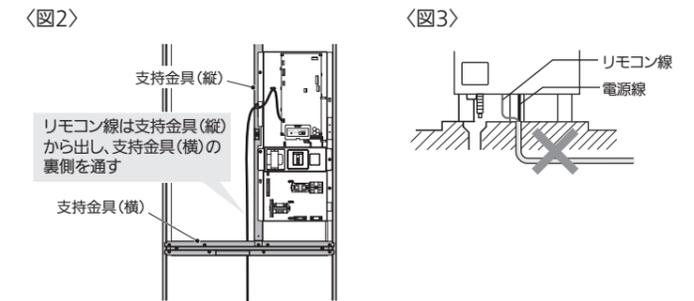
- リモコンの端子は無極性です。
- 必ず、200Vと100V(制御用)の電源ブレーカーを「切」にしてから接続してください。

- (1)前面カバーを外す
- (2)リモコン線の芯線を2つ折りにして、リモコン接続端子に圧着する<図1>  
<参考>接続端子用手動式圧着工具: 日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216
- (3)ケーブル押えでリモコン線を固定する
- (4)パテでリモコンケーブル口をふさぐ
- (5)前面カバーを取り付ける



### 【お願い】

- リモコン線は支持金具(縦)から出し、支持金具(横)の裏側を通してください。<図2>
- リモコン線どうしの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。
- リモコン線は電源線と離して(約5cm)配線してください。近いとノイズによる誤動作の原因になります。
- リモコン線は、引っ張っても端子に直接張力がかからないようにケーブル押えで確実に固定してください。
- 電源線とリモコン線を同一パイプ内で配線しないでください。リモコンが誤動作する場合があります。<図3>



# 7.据付工事後の確認

据付工事後は、下表にあげたチェック項目を確認してください。  
不具合があった場合は、必ず直してから、『8.試運転』を実施してください。  
機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。火災や感電(2ページ参照)その他の原因になります。

■据付状態		判定		判定	
1	脚が固定(アンカーボルト及びL型座金)されていますか。			5	設置面は、排水・防水処理してありますか。
2	満水時の重量(仕様表参照)に十分耐えますか。			6	排水配管にトラップが設けられていますか。
3	機器のメンテナンススペースは確保されていますか。			7	上部を固定しましたか。(2階以上に据え付けた場合)
4	火気・引火物は近くにありませんか。			8	ケースに傷、変形はないですか。
■配管工事		判定		判定	
1	温水器専用止水栓は適切な位置についていますか。			5	給湯配管材は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。
2	排水ホッパーはついていませんか。 排水口は排水ホッパーの中心にありますか。			6	給水・給湯配管に絶縁を考慮した配管材が入っていますか。
3	排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか。			7	排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか。
4	ドレンホースを排水ホッパーに導いてありますか。			8	凍結防止工事は適切ですか。
				9	給水ストレーナーは点検しましたか。
■電気工事		判定		判定	
1	電源線の太さは適切ですか。			7	保護アース(接地)工事は確実ですか。
2	タイムスイッチ、200V電源ブレーカーはついていませんか。			8	配線はケーブル押え板で固定しましたか。
3	タイムスイッチ、200V電源ブレーカーの定格は十分ですか。			9	リモコンを温水器に接続しましたか。 また、配線図に合った配線工事がされていますか。
4	電源は200Vですか。			10	制御電源(100V)を接続したときは、高感度高速型(30mA以下、0.1秒以下)の漏電遮断器を設置しましたか。
5	電源線と温水器の接続は、契約した制度(深夜電力、時間別電灯)に合わせて適切にされていますか。				
6	電源線の200V(100V)ターミナルへの端子の締付けは確実ですか。 ゆるんでいたり、電源線をななめに差したりしていませんか。				
■その他		判定		判定	
1	通電制御型の電気料金割引きについて、お客様に説明をしましたか。			6	漏電遮断器を切り、タンクの水抜きをしましたか。 (試運転確認後すぐに入居しない場合など)
2	湯水混合栓からの流量は十分ですか。			7	電動弁スイッチは「自動」になっていますか。
3	各種配管からの水漏れはないですか。			8	凍結防止の方法をお客様に説明しましたか。
4	逃し弁のレバーを手前に起こして排水栓を開いた時、排水ホッパーから排水があふれることはないですか。			9	日常点検やお手入れ方法などをお客様に説明しましたか。
5	試運転は異常なく終了しましたか。			10	リモコンの使いかたをお客様に説明しましたか。

■お客様、工事店様サイン欄 据付工事後の状態を工事店様とお客様の間で正しく確認していただくため、上記の内容をお客様と一緒にご確認ください。

形名	お客様	
製造番号		<店名>
据付年月日		<電話番号>

## 施工後すぐにお客様へ引き渡さない場合(すぐに使用しない場合)

施工後や試運転完了後は、以下の手順で機器内の水を排水してください。  
温水器の電源を切るときは、機器内の水を抜いてください。水を抜かないと、凍結により機器が破損し水漏れすることがあります。  
ただし、厳寒期は排水中に凍結し、機器が破損する場合があります。外気温が0℃以上の環境で排水・水抜きをしてください。  
0℃未満の環境では満水状態で電源を入れたままにしておいてください。

- 1 電動弁スイッチを「強制開」にする**  
電動弁ランプが点灯します。開くの約15秒かかります。
- 2 漏電遮断器の電源レバーを「切」にする**
- 3 温水器専用止水栓を閉じる**
- 4 逃し弁のレバーを手前に起こす**
- 5 排水栓を開く**
- 6 給水・給湯配管の水を抜く**  
施工時に取り付けした水抜き手段(不凍結水栓やY型ストレーナー)を操作し、水抜きを実施してください。
- 7 水抜き完了後、1時間程度放置してから、排水栓を閉じる**



# 8.試運転

## ⚠️ 注意 ⚠️ 通電はタンクを満水にしてから行う (ヒーターが過熱して発火の原因)

- 【お願い】
- 満水になる前に通電するとリモコンに「F07」エラーが表示され、わき上げを行いません。必ずタンクを満水にしてください。満水になると「F07」エラーは自動解除されます。
  - 試運転はお客様立ち合いで行なってください。
  - 深夜電力で契約している場合は、電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通電状態にしてから試運転を行なってください。
  - 給水の前に、給水配管内の砂やゴミを洗い流してください。給水ストレーナーを外し、給水配管専用止水栓を開いてください。排水はバケツ等で受けてください。給水配管内の砂やゴミが出なくなるまで実施ください。

【お知らせ】

- この温水器は、タンク内のお湯を使い切ると電動弁を閉じて給湯口から水が出ないように制御します。ただし、設置後はじめてご使用になる場合、設定温度にわき上がるまでは、タンク内が水でも電動弁は開いています。

### (1)タンクを満水にする

- 蛇口(湯水混合栓)、排水栓が閉じていることを確認する
- タンク内の空気を抜くために、逃し弁のレバーを手前に起こす
- 温水器専用止水栓を開いてタンクに水を入れる  
タンクが満水になると逃し弁排水口から水がでます。満水までの目安は約30分です。(配管や水源水圧によって多少異なります。)
- 満水になったら、逃し弁のレバーを戻す  
(温水器専用止水栓は、閉じないでください。)
- 給湯配管の空気を抜くために、蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1カ所)  
(空気が抜けたら蛇口を閉じてください。)
- 電動弁スイッチを「自動」にする(確認する)

【お願い】

- 次の手順で給水ストレーナーのゴミづまりを点検してください。

- 温水器専用止水栓を閉じる
- 逃し弁のレバーを手前に起こす
- 給水ストレーナーを外し、歯ブラシなどでゴミを取り除く
- 掃除が終わったら、給水ストレーナーを取り付け、温水器専用止水栓を開く
- 排水口から勢よく水が出たら逃し弁のレバーを戻す

●水が出ない、出が悪い場合は、温水器専用止水栓が開いているか確認してください。また、各水栓のストレーナーも点検してください。

### (2)200V電源ブレーカーを「入」にする

- 制御用に100V電源を使用する場合は、100Vの電源ブレーカーも「入」にしてください。

### (3)漏電遮断器の電源レバーを「入」にして、動作を確認する

- 漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。
- ヒーターへの通電を確認します。(電力量計が動作し、リモコンの表示部に「わき上げ中」が表示されます。)

【お知らせ】

- 時間別電灯で使用される場合、初日のわき上げは、昼間時間帯にもわき上げます。

### (4)リモコンの時刻設定を行う

- 正確な時刻に合わせてください。(操作方法は取扱説明書参照)

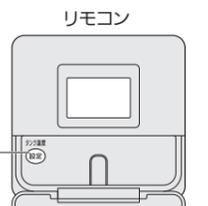
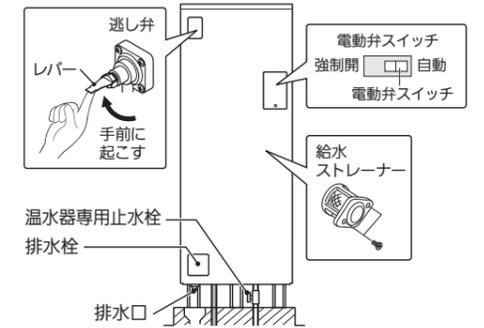
### (5)わき上げ温度の設定を行う

- タンク内を正常にわき上げているかどうか、リモコンの温度表示スイッチを押して確認してください。わき上げが正常なときは、1時間に約10℃、温度が上昇します。
- 空焼きによって、ヒーター空焼き検知器・温度過昇防止器が動作した場合、正常に復帰させていない状態ではヒーターに通電されていなくてもリモコンに「わき上げ中」が表示されます。正常にわき上げているかどうかは、リモコンの温度表示スイッチを押して温度の上昇を確認してください。

### (6)配管及び各配管の接続部から水漏れが無い確認する

### (7)上記以外のリモコン機能が取扱説明書の通りに操作できるかどうか確認する

- 【お願い】
- 深夜電力で契約している場合は、試運転終了後、タイムスイッチの時間を現在時刻に戻してください。
  - 試運転終了後、すぐに温水器をご使用にならない場合は、凍結による故障を防ぐためタンク内および配管内の水を抜いてください。



# 9.お客様への説明

- 別冊の取扱説明書にしたがって、正しい使い方をご説明ください。特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重要な注意事項を記載していますので、必ず守るようにご説明ください。「お手入れと点検」の項目や「凍結防止」については、機器で具体的に説明してください。
- この据付工事説明書は、工事完了後お客様にお渡しください。なお、取扱説明書、保証書等も必ずお客様にお渡しください。
- 物件などで使用者が不在の場合は、発注者(オーナー、ゼネコン)や管理人へご説明ください。
- リフォーム時には必ず試運転が必要となります。
- 次の項目を必ず説明してください。
  - ①この温水器は、電力会社との契約内容によっては申請することで通電制御型として電気料金の割引が適用されることがあります。※ 適用を受けるには、電力会社にご確認ください。買い替え時などで機種変更した場合も、電力会社への申請が必要です。※詳細は電力会社へお問い合わせください。
  - ②長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なことをご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。また、消耗部品(減圧弁、逃し弁、ヒーター、パッキン、空気抜き弁など)は定期的に交換が必要です。
  - ③ガス機器から電気機器へ変更をする際(ガス給湯機から電気温水器への取替など)は、事前にガス事業者への連絡が必要です。ガス事業者への連絡をせずに無断撤去することは法令により規制されていますのでご注意ください。
  - ④家庭用以外でご使用のお客様には、同梱の「事業者さまへのご案内」をお読みいただくようお願いいたします。

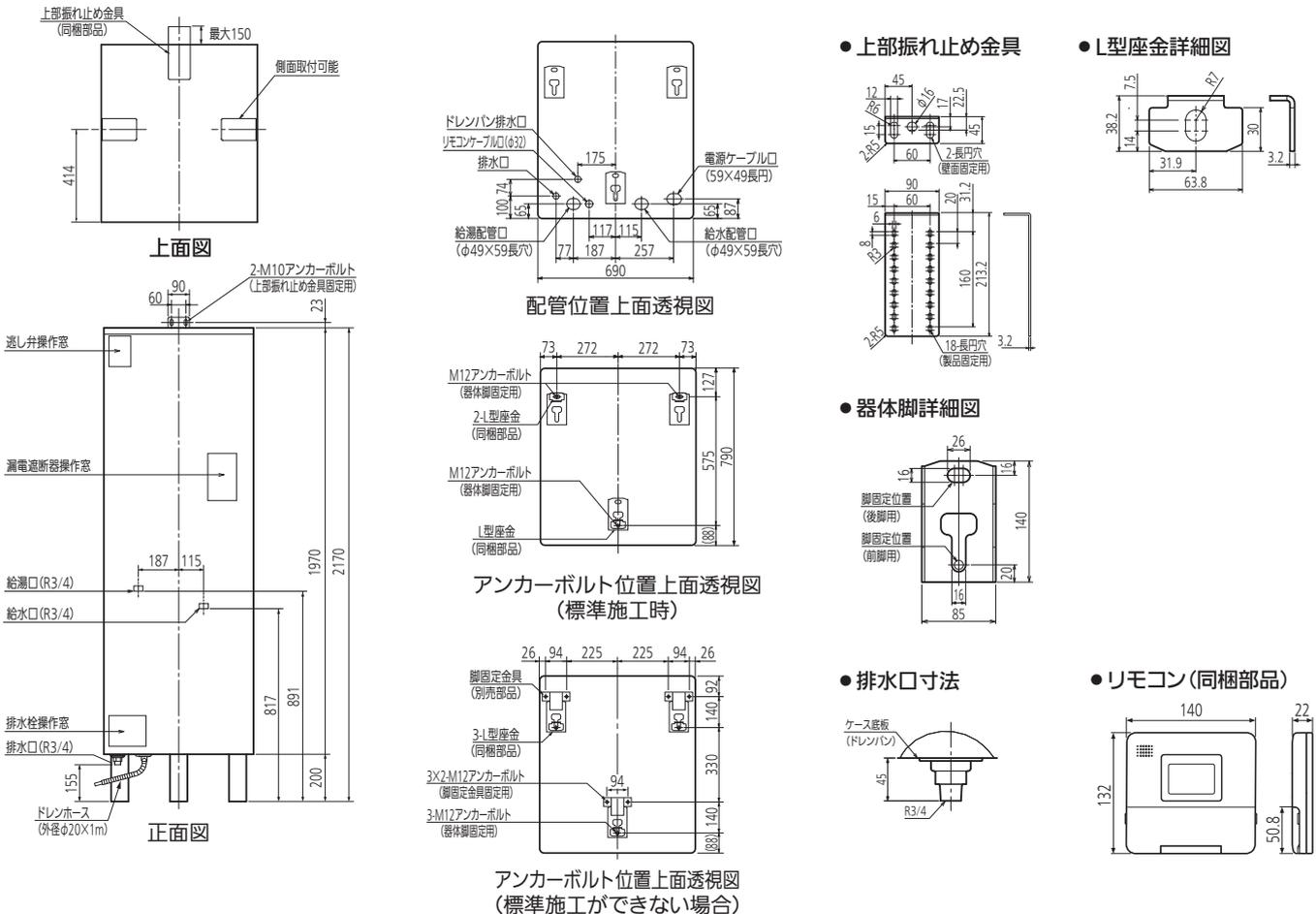
# 仕様表

形名	SRT-556GUA	
圧力タイプ	高圧力型	
適用電力制度注	時間帯別電灯(通電制御型)／深夜電力8時間(通電制御型)	
設置場所	屋内・屋外	
タンク容量	550L	
定格電圧	時間帯別電灯契約時	単相200V
	深夜電力契約時	単相200V+単相100V※
定格消費電力	最大消費電力	6.408kW
	ヒーター	6.4kW
	制御用	5W(通常時)、8W(最大時)
わき上げ温度	約75℃～約85℃	
外形寸法(高さ×幅×奥行)	2170×690×790mm	
製品質量(満水時)	83kg(633kg)	
水側最高使用圧力	193kPa	
安全装置	漏電遮断器、温度過昇防止器、缶体保護弁	
給水器具認証書番号	W009-20001-017	
給水器具認証型番	SRT-556GUA	
リモコン	同梱部品取付必須(RMC-9)	

「高圧力型」とは…  
 ●「高圧力型」は、「標準圧力型」より勢いよくお湯が出ます。(通常使用圧力…標準圧力型:85kPa→高圧力型:170kPa)  
 ●1階に据え付けて2階でも使えるようになりました。(3階でも手洗い程度であれば使用できます。)  
 ●「高圧力型」を事務所、店舗などでご使用の場合は、労働安全衛生法により書類の提出等が必要です。高圧力型電気温水器(小型温水ボイラー)に関する法令として以下のものがあります。  
 労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)、労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)、労働安全衛生規則(昭和47年労働省令第32号)、ボイラー及び圧力容器安全規則(昭和47年労働省令第33号)

※リモコン用電源として単相100Vが必要です。  
 注.適用電力制度については電力会社により異なりますので、ご契約の電力会社にお問い合わせください。

# 外形寸法図



## 三菱電機株式会社

群馬製作所 〒370-0492 群馬県太田市岩松町800